



大杉東小だより

令和8年6月30日NO. 4

江戸川区立大杉東小学校 校長 望月 潔

思いやり算

今年は涼しい6月でしたが、今週になって蒸し暑く初夏らしい天候になってきました。水泳指導もようやく実施できるようになり、プールからは子どもたちの気持ちよさそうな声が聞こえてきます。

さて6月は、「ふれあい月間」でした。各学級で道徳や学活の時間を活用して、お互いをよく知り、尊重し合える温かい人間関係づくり（これを“支持的風土”と言います）を推進しました。

8日の全校朝会では、齋藤 孝さんの絵本「ふわふわとちくちく」「ことばいいかえ絵本」を使って、言葉のコミュニケーションについて全校で考えました。

ふわふわ言葉とは、「ありがとう」「ごめんね」「だいじょうぶ？」「いっしょにやろう」など、言われて気持ちの良い言葉のこと。

対するちくちく言葉は、人から言われたら気分が悪くなる言葉のことで、「うるさい」「あっちいけ」「むかつく」「ばか」などが代表例ですが、今ではだれもがごく自然に使っている「うざい」「きもい」も、ちくちくの仲間ですね。

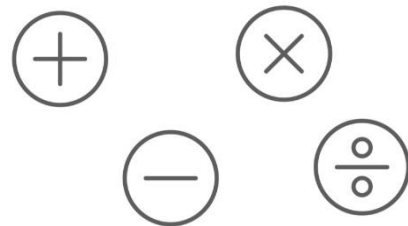
朝会では、ふわふわ言葉でいっぱい学級・学校にしていきたいと思います、と話しました。どの学年も、とても真剣に話を聞いてくれていました。

そしてもうひとつ、ふれあい月間にちなみ、こんな算数を紹介します。

思いやり算

たす「+」は、たすけあう
ひく「-」は、ひきうける
かける「×」は、声をかける
わる「÷」は、わけあう

人を笑顔にする算数、思いやり算



思いやりや心くばりを具体的にわかりやすく伝えていて、覚えやすいフレーズですね。これは数年前にテレビCMでも使われていましたので、覚えている方もいるでしょう。

4年生で習う“計算のきまり”では、たし算よりかけ算を先にやることになっていますが、思いやり算に順序はありません。どれからやっても正解です。

困っている子がいれば助け合い、損な場面も笑顔で引き受ける。いつも声をかけ合い、喜びも悲しみも分かち合う。そんな、思いやり算の得意な東っ子をたくさん育てていきたいと思います。

さて少し早いですが、7月18日からは夏休みが始まります。休み中の生活や宿題などについては後日お知らせしますが、子どもたちにとりまして安全で有意義な日々となりますよう、ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。